

花巻リノベーションまちづくり 構想策定会議を開催！

オンライン

視聴無料

将来を担う世代も「住んで働いて遊び学ぶ」ことができる、魅力的で持続性の高いまちを力を合わせて作っていくため、有識者や実践者を交えてリノベーションまちづくり構想を作っています。この策定会議を次のとおり開催しますので、まちづくりに興味のある方や花巻のまちが大好きな方、一緒に盛り上げていきたい方などぜひご参加ください！（感染症対策のため、インターネットによるオンラインで開催）

1 開催日時

【第5回最終回】令和3年2月20日（土）

15時00分から（90分程度）

ディスカッションテーマ：

「ワクワクをつなぎ広げる」

2 視聴方法 zoomによるオンライン視聴

3 参加料 無料（どなたでも視聴できます。）

4 定員 50名程度

5 申込方法

2/16正午までに市ホームページの専用フォーム
またはお電話で申込みください。

・定員になり次第受付を締め切ります。



6 その他・会議中の映像、音声・発言内容は記録・公開されます。

・会議進行の妨げとなるような行為は行わないでください。

「リノベーションまちづくり」とは、まちに存在する遊休不動産を新しい使い方で活用し、エリア全体の活力を創出しようという取組です。

申込・問合せ先

花巻市建設部都市政策課都市再生室（41-3557 内線565 担当 伊藤）

花巻市

～花巻の未来を自らの手でつくる～

まちの未来にむけて、私たちができることは何だろう。

まちを、人を、未来に住み継いでいくことは私たちにしかできない。

これまででもこれからも、まちをつくるのは自分自身です。

自らの手の中にある可能性を見つめ、一緒に踏み出してみませんか。

これまで開催された公開会議とシンポジウムの内容

これまで4回の公開会議を開催し、次のように事例検討と協議を行いました。

【第1回】事例検討：福祉と建築(2019.10.28)



細谷 拓真 (ほそやたくま)
医師・横手市医師会理事 / 横手市観光協会理事 他

“人生100年時代、病気よりも障がいへの対応が求められる。どんな状況の人でも地域やまちに緩くつながっている「社会的処方」の考えが官民ともに重要。”



竹内 昌義 (たけうちまさよし)
建築家・みかんぐみ共同主宰 / 東北芸術工科大学教授 他

“消費エネルギーが大きい建物ほどヒートショックや慢性疾患、CO2排出、経済流失を誘引している。待ったなしの地域再生と地球環境。これらを複合的に解決する「住まい」がある。”

【第2回】事例検討：子育てと歩車共存(2020.1.14)

丑田 俊輔 (うしだしゅんすけ)
ハバタク株式会社 代表取締役
“一見不便な田舎町、町民挙げて建てた小学校がまちの要、学校帰りの子供達がまちで遊び、傍らに大人達がいる。車両も歩行者も通りを使い、緩やかな共有のなかで、子育てと事業活動が共存できる方法がある。”



西村 浩 (にしむらひろし)
建築家・クリエイティブディレクター：株式会社7-グレイジョブ 他

“コンパクトシティ転換は100年単位。それまで文化的・経済的に地域を持続させる道のりには、公的空間（駐車場・道路、川、公園）と建物の境が「潮目」となる、そこに多様な豊かな風景を作り出せる。”



【第3回】オンラインで協議：まちのビジョン-私達の日常の焦点(2020.10.23)

今あるものを大切にして「住んで働いて遊び学ぶ」まちの今後の姿について協議。（以下、委員・参加者からの意見）・花巻は歴史や文化があるからこそ、新しい世代がそれを受け継いでプラスアルファを加えていける・安さで選ばれるのではなく、応援したいという人や地域への応援型消費で選ばれる土地に・多様な働き方や関わり方が可能なかたちに・自分が主体者として関わっている実感が大事・快く、心地よく過ごしていくとはどの様な要素が必要か・ビジネスと周囲の人達の暮らしの質が一緒に上げられるように・学ぶことに関して熱意が高い・学生や子どもがまちを考えている大人と混ざり合いながらまちづくりに関わっていくのが面白い（他多数）



【第4回】オンラインで協議：まちのビジョン2-改めて発信したいこと(2020.12.17)



「今あるモノを大切にし 新しい価値提案を 自分たちの手でつくっていく」まちのイメージをイラスト化し、その手法や説明の表現を協議。（以下、委員・参加者からの意見）・日常を元気にしたいと思っている。・源泉という言葉はすごくいい。エネルギーな気持ちや喜び、幸せが生れ出る、そんな源泉。花巻といえば温泉。・地元に戻ってくるのに、チャレンジするにも知識も経験もないのがネック。でも花巻はスクールやってみんなで学んできた、というのがある。学びながら一緒に作っていく。・ちょっとづつ子供と地域とが離れてきているところはある。どうやって思い出をこの花巻でつくって、将来もここに住みたいと思っていくのかを考える。・本当はアップデートされているのが目に見えるといい。（他多数）

令和元年度にはシンポジウムを開催しました(2019.12.23)

【シンポジウム&トークセッション】ここに住んで働きたい、選ばれる花巻の暮らしをつくる

（シンポジスト：山崎満広さん/一社）クリエイティブシティラボ代表理事、つくば市アドバイザー、他）
（ナビゲーター：竹内昌義さん/上記のとおり）「今までは都市計画とか総合計画とかいって何万の人がかわかって計画してるんだけど、もうこんだけ時代の変化が速いと、計画しても計画が作られたときには次の変化が起こります。すぐに実行してみる。そのためには実験が必要です。・ポートランドは、過去40年間、環境と経済を掛け合わせて、一緒に伸ばしていけるよなっていうことを信じて続けた。・いちいち公共交通使う頻度あげて、いちいち自転車を通る道を作って～人々が出くわして、もっとそこにいる人と対話ができるようになって、コミュニティが生まれて、アイデアがいろいろ交換させられて、リノベーションにつながって命ができるみたいな、そういう構図。・建物のオーナーさんとまちと、一生懸命お金出し合って、～どうやって一緒に素敵な空間作るかかってところに、お金と時間をかけます。・この交流ができれば～いつの間にか、知り合いが知り合いを呼んで、知り合いになってどんどん知り合いになってネットワークが増えると、商売もうまくいくんですよ」他



これまでの会議記録はこちら→

